

① 研究課題

ポリファーマシー対策チームによる減薬効果に関する研究

② 研究等の目的・概要

ポリファーマシーは必要以上に多くの薬剤を処方されている状態で、多くの研究者が21世紀の世界で最も困難な公衆衛生問題の1つになりえると考えている。(Cochrane database Syst Rev. 2012;5(5):CD008165.) 当院でも2017年より地域の処方医と連携して、主に地域包括ケア病棟に入院している患者を対象に多職種によるチームを立ち上げてこの課題に取り組んできた。約4年間に及ぶ活動の中で、どの程度減薬ができたか、どの程度処方回数を減らすことができたか、どういった薬剤を減薬し、どういった薬剤を開始したかを検証する。

③ 主任責任者

橋本市民病院 総合内科 副医長 橋本 忠幸

④ 研究期間

2021年7月26日～

⑤ 研究等の対象、実施機関及び実施場所

地域包括ケア病棟へ転棟した整形外科患者において、入院時に6剤以上の薬剤を継続しているおり、チームの薬剤師が薬剤調整の必要性が高いと判断した患者。

⑥ 研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護について

電子カルテから個人情報を秘匿した状態で薬剤情報を得て、院内端末のみで取り扱う。

⑦ 本研究に関するお問い合わせ先

橋本市民病院 総合内科 橋本 忠幸 (TEL 0736-37-1200)